

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

委員長 堀田 繁樹

開催日時 令和4年4月26日

出席者 堀田繁樹委員長、松原栄樹副委員長、加藤貞一郎委員、大島正秀委員
柴田栄一委員、川波忠臣委員、(菅沼利紀議長)

説明員 生田邦夫市長、都市建設部長、同部次長、同部管理監、都市政策課長

○所管調査事項 一級河川大山川の調査について

・現地踏査 大山池、竜王川、大山川について現地調査を実施。

隣接の野洲市地域の農業用ため池である大山池余水吐の視察。次に大雨時に道路冠水していた竜王川の状況を視察。次に大山川上流部の状況を視察。

・大山川の現状と課題について

大山川は、延長4.7kmで一級河川かつ砂防河川で、野洲市南桜・北桜の農業用ため池(慣行水利権)となっている。大山池の余水吐は竜王川の河床より1m程度高く、竜王川では常時湛水し不衛生な状態が続いている。平成30年に実施した水路改修により、市道の冠水は解消しているが、流水途中のスクリーンが草木やごみ堆積で閉塞しやすく定期的な清掃と状況確認に努めている。

大山池余水吐の切り下げについて、平成25年度から野洲市と計12回協議を行っているが不調となっている。

大山川の河川内に茂っている樹木の伐採等については、令和4年度から下流部より年次計画に基づき実施予定であるが、大山池については砂防ダムの位置づけであるた

め、現時点での浚渫計画はない。市としては、大雨等に備え河川のスクリーンの状況確認や道路安全パトロールを徹底していくと説明がありました。

○質疑

- ・大山川の樹木伐採と土砂浚渫の予定は

県により樹木伐採が令和4年度から実施された後に浚渫計画の予定です。

- ・竜王川の排水対策として大山川以外への流域変更は可能か。

最終到達は大山池に注いでおり、変更はできません。

- ・大山池の浚渫の実績と地元管理の状況は。

余水吐より下流は50年確率に対応した川幅であるが、上流部の湖南省地域については落差工以外に過去に浚渫された記録はありません。

また、野洲市該当地域により年1回水抜きを実施されています。

- ・余水吐切り下げの見通しは。

野洲市からは現在合意を得られていないため、排水対策工事の着手は困難な状況ですが、引き続き協議をしていきます。排水処理には多額の事業費も伴うため、総合的に検討を進めます。

○報告事項

- ・湖南省立地適正化計画の改定について

平成29年に策定した立地適正化計画について、質の高い生活サービスを安全・安心して享受でき、都市機能の集積と歩いて暮らせる生活環境の整備を進めるため最新の社会動向やハザード状況を反映し令和4年3月に計画の改定を行ったものです。

出席者 堀田委員長、松原副委員長

加藤委員、大島委員、柴田委員、川波委員

3月16日の議会改革推進特別委員会において産業経済常任委員会に付託を受けました、「議会報告会」の開催について、5月16日に開催した委員会の協議結果を報告します。

委員から、所管事項に即した団体として過去には農業関係団体(集落営農組織代表)との懇談を実施しています。今回、市政の課題やまちづくりなどについての対象団体として、シルバー人材センターや観光協会などを対象候補としてはどうかとの意見があり、協議の結果、全員賛成で湖南市観光協会との懇談会を開催することに決定しました。